

## 2010年10月9日（土）会合議事録

期 日：2010年10月9日（土） 9:50～12:45

場 所：広尾 JICA 地球ひろば 402 セミナールーム

参加者： 22名

### 【実施内容】

- ①アイスブレイク
- ②Tさんプレゼンテーション
- ③参加者より
- ④ワールドカフェ
- ⑤報告・連絡事項



-----  
1. アイスブレイク（9：50～）

4つのグループに分かれてそれぞれアイスブレイクを行った。  
テーマは「自分にとって、最善のリーダー像とは？」

2. プレゼンテーション「リーダーの卵を産む“塾 21”の試み」発表（10：00～）

休憩（11:30～）

3. 参加者より（11：40～）

〔Hさんより〕

会合の開催とバンコクから帰国しているタイミングが重なり、会合に参加することができた。日本滞在は一週間ほどである。来年は甲良町や長浜市でGNHに関するワークショップを開催予定である。参加費用は安く抑えたいと思うので、都合がつく人は参加してほしい。

〔Sさんより〕

現在、国連人口基金のアジア・大洋州地域事務所で勤務をしている。職員の国籍が約50%を占めるタイ人以外は、様々な国籍である。この“様々な国籍”の中では、自分自身が“普通”と思っていることも普通でないことがある。

（例として、待ち合わせ時間を説明した）

日本という環境に居ると忘れてしまいがちだが“日本人同士であっても相手の立場に立って物事を考えることは大切だ”と改めて感じている。

[Nさんより]

以前市長をしていた。現在では、GNHに基づいたまちづくりを目指している関西のある市より、アドバイザーとして迎えられ、活動を始めている。今後は、GAHに積極的に取り組んでいる荒川区とも協力して、共にGNHの考えに基づいた自治体を目指していきたい。いずれは、関東では荒川区と争えるくらい有名にしていきたいと考えている。

最近では事業仕分けなどで、行政の効率性ばかりが注目されるが、幸福感は費用対効果だけで考えることはできないのではないかと考えている。

#### 4. ワールド・カフェ (12:00~)

プレゼンテーションを受けて、5つのグループに分かれてワールドカフェを行った。

※ワールドカフェのやり方やルールについては4月17日の議事録を参照



#### 【ディスカッションテーマ】

①「全員がリーダーの資質を持つ集団」は理想ですが、本当にいい集団でしょうか？

[意見]

- ・ 「全員がリーダーの資質を持つ集団」は本当に理想なのか？リーダーとしてよりも従属者としてサポートしたいという人もいるのではないか。
- ・ リーダーに向いている人と、そうでない人がいると思う。
- ・ リーダーの資質を後から得ることは可能か？
- ・ そもそもリーダーとしての資質とは何か？という議論もあるが、プレゼンにあったようにリーダーを「自分の価値観・志・情熱を持って積極的に行動する人」と捉えるなら、全員がそのような資質を持っていたら相互に意見を高めていけるだろう。
- ・ リーダーになる人は、ゆったりしておおらかな人が向いていると思う。
- ・ リーダーの資質として、信念を持って行動できるというのは必要だと思うが、周りの意見を聞いて少しずつ修正していける人でなくてはならない。 etc...

②すべての人が最低限共通して持つべき”本質的（絶対的）”価値判断基準とは何でしょうか？

[意見]

- ・ 今の社会では、家庭と社会と会社において、それぞれが異なる自分を演じないといけない。それを一致させることが必要なのではないか。
- ・ 絶対的な価値判断基準など存在しない。 etc...

【意見共有】

各グループで話し合った内容をもとに、数名に意見を発表してもらった。

[Aさん]

絶対的な価値判断基準は存在しえないと思う。もしあるとしたら、「人類は滅びてもいいけど、お前は生きていていい」というような考え。それが本質的（絶対的）価値判断基準なのではないか。

[Dさん]

質問だが、すべての人とは誰を指すのか？

[Sさん]

国籍も、年代も関係ない人たちのこと。不特定多数のユニバースな人たちを想定した。



[Dさん]

人は他人に迷惑をかけずに生きることはできない。ユニバースな人たちというが、現実には、内、外があり、どこかへの所属意識が存在する。

[Sさん]

過去の人間の営み、歴史があったからといって、多くの戦争もそうだが、それがすべて善であったとは思えない。

[Dさん]

戦争とは単なる殺し合いではなく、自分達が生き残るための行為。

[Tさん]

例えば、EU は第一次・第二次大戦の反省から、永年敵対していたフランスとドイツが中心になって、もう戦争をしない仕組みづくりの努力をしてきた。世界中でこのような仕組みづくり努力が必要。

[Dさん]

しかし、EUはアジアやアメリカへの対抗として作られた経緯がある。

[Tさん]

アメリカやアジアからの市場防衛的考えは後から生まれたもので、第二次大戦終結後まもなく生まれた EU 構想は、二度と戦争を起こさないための純粋な考えから出発。

[H さん]

グループ内で出た意見なのだが、「絶対的」というのは、結局「好きか、嫌いか」によるのではないかと。主観的なものであり、それを外側からは決めることはできない。

[Y さん]

今の意見は、法律家とは思えない意見だ(笑)



## 5. 報告・連絡 (12:40~)

■S さんより

青年海外協力隊としてブータンにて体育教員をしていた。今年の 2 月に帰国し、現在は国内でブータンの写真展を開いている。写真展でたまったお金を利用して、ブータンにボールを送ることを考えているのだが、ボールは手に入れることができても、現地にするいい方法を考えている。

[S さん]

あさっての月曜日までにボールの用意ができれば、40kg までならバンコクまで持っていける。次は正月明け。

[Y さん]

以前ブータンに医学書を送った際に、旅行者のスーツケースに小分けにして現地に届けたことがある。同じ方法を使えないか。

[S さん]

また、写真展を開催した際に、知り合いからアドバイスを受けて写真集を作った。それを売らないのかと聞かれているのだが、何かいいアイデアがあったら教えてほしい。

■次回の研究会は 2 月 19 日 (土) を予定。

詳細は別途メールにて連絡します。

終了 (12:45) その後、広尾駅近くの和食料理屋にて食事。